

精神保健福祉センター報

令和4年度

奈良県精神保健福祉センター

目 次

1	職 員	2
2	精神保健福祉相談	2
3	教 育 研 修	4
4	普 及 啓 発	4
5	自 殺 対 策	5
6	依 存 症 対 策	8
7	災 害 対 策	9
8	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築	10
9	精神医療審査会事務	10
10	技 術 支 援	11
11	精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院）の判定	12

1 職 員

令和5年3月31日現在

職 種 区 分	医 師	事 務	精神保 健福祉 相談員	心 理 判 定 員	電 話 相 談 員	保 健 師	合 計
職 員	2 [内兼務1]	6 (5)	3	1	1 (1)	2 (1)	15 (7)

* () は会計年度任用職員

2-1 精神保健福祉相談

精神保健福祉センターでは、電話や面接による精神保健福祉及び精神障害者福祉に関する相談及び支援を実施しています。

令和4年度における精神保健福祉相談実績延べ件数は、表1から表7のとおりです。

表1 相談内訳

	件数	%
所内相談	122	22.3
電話相談	426	77.7
訪問指導	0	0.0
計	548	100.0

表2 利用状況

	件数	%
新 規	275	50.2
継 続	273	49.8
計	548	100.0

表3 相談者

	件数	%
本 人	269	49.1
家 族	215	39.2
本人家族	22	4.0
その他	42	7.7
計	548	100.0

表4 相談経路

	件数	%
医療機関	18	3.3
保健所	0	0.0
市町村	6	1.1
関係機関	49	8.9
センターホームページ	85	15.5
広報	0	0.0
一般情報	380	69.3
その他不明	10	1.8
計	548	100.0

表5 年齢別・性別

性別 年齢	男		女	
	件数	%	件数	%
10歳未満	3	0.7	0	0.0
10～19歳	16	3.8	20	15.7
20～29歳	66	15.7	14	11.0
30～39歳	59	14.0	20	15.7
40～49歳	79	18.8	30	23.6
50～59歳	124	29.5	15	11.8
60～69歳	58	13.8	4	3.1
70歳以上	7	1.7	11	8.7
不明	9	2.1	13	10.2
計	421	100.0	127	100.0

表6 相談内容

	件数	%
精神疾患に関すること	124	22.6
老人精神保健に関すること	11	2.0
社会復帰に関すること	1	0.2
アルコール依存に関すること	5	0.9
薬物依存に関すること	135	24.6
ギャンブル依存に関すること	177	32.3
ネット・ゲーム依存	4	0.7
思春期に関すること	24	4.4
心の健康づくりに関すること	8	1.5
うつ・うつ状態に関すること	15	2.7
摂食障害に関すること	7	1.3
てんかんに関すること	0	0
その他	37	6.8
計	548	100.0

表7 対応内容

	件数	%
傾聴・助言	404	73.7
情報提供	17	3.1
他機関紹介	8	1.5
センター来所予約	119	21.7
計	548	100.0

2-2 安倍元首相銃撃事件に関するこころのケア

令和4年7月8日に奈良市内で発生した安倍元首相銃撃事件の現場に居合わせた方や、その家族など身近な方、ニュースを見聞きしてショックを受けたり不安を感じた方など、この事件の影響で、こころの悩みを抱える方の相談電話を開設しました。

- ・開設期間：令和4年7月11日～令和4年9月30日
- ・相談件数：33件（延数）

3 教育研修

県内関係諸機関の精神保健福祉業務に従事する各職種に対して、精神保健福祉に関する専門的知識と技術向上を図るため、研修会及び連絡会議等を開催しています。

研修名	内容	講師	参加者数	実施日
自殺対策人材育成研修会	①生きるを支援する一児童思春期を中心に一 ②どうしてる？児童思春期への対応（演習）	① 奈良県立医科大学精神医学講座 助教 岸本 直子 氏 ② 精神保健福祉センター職員	13名	令和4年 6月7日
精神障がいを理解するための研修会（初任者研修会）	① 知っておきたい精神医学の基礎知識 ② 地域で生活する精神障害者の障害特性と具体的な支援	① 精神保健福祉センター精神科医 伊東千絵子 ② 訪問看護ステーションみのり統括所長 小瀬古 伸幸 氏	26名	令和4年 9月13日
自殺未遂者支援研修会	「死にたい」と言われたら	ハートランドしぎさん 院長 徳山 明広 氏	79名	令和4年 10月21日
自殺対策担当者人材育成研修会	① 生きるを支援する～地域で主体的に取り組む自殺予防とは～ ② 市町村からの発表	① 関西大学大学院心理学研究科 教授 石田 陽彦 氏 ② 香芝市・田原本町・平群町	23名	令和4年 12月9日
災害時こころのケア研修会	PFA（サイコロジカル・ファーストエイド）を学ぼう	杉山診療所 精神科医 大阪府災害医療コーディネーター 緑川 大介 氏	23名	令和5年 1月6日
依存症対策研修会	依存症への理解を深める	ハートランドしぎさん 臨床教育研修センター長 長 徹二 氏	38名	令和5年 3月2日

4 普及・啓発

県内関係諸機関において精神保健福祉に関する知識等を啓発しています。

ゲートキーパーパネル展示

広く県民にゲートキーパーや自殺対策についての理解を深めてもらうことを目的とし、以下のとおり、ゲートキーパーパネル展示等を行いました。

実施日	令和4年9月6日～11日
会 場	奈良県図書情報館
内 容	・ゲートキーパーに関するパネルの掲示（10枚） ・普及啓発グッズ（ティッシュ、A4ファイル、ならこころのホットライン啓発カード、リーフレット）の配布

5 自殺対策事業

奈良県では、平成29年度に誰も自殺に追い込まれることのない「健康な心で暮らしやすい奈良県」を実現するために「奈良県自殺対策計画」を策定しました。本計画に基づき、平成30年4月に「奈良県自殺対策支援センター」を設置し、行政や関係機関、民間団体などが連携を図りつつ、保健、医療、福祉、教育、労働、法律等に関わる総合的な取り組みを実践し、地域の実情に応じたきめ細やかで効果的な対策を実施していきます。

(1) 相談事業

① 電話相談「なら こころのホットライン」（開設時間：平日9:00～16:00）

平成22年1月より専用回線「なら 自死遺族・こころのホットライン」を設置し、自死遺族のためのこころの相談を開始しました。平成22年4月からは自殺予防として「死にたい」と思うほどのつらい気持ちを抱えた方にも対象を拡げて電話相談を実施しています。

	自死遺族	自殺予防	合計
相談延べ件数	8	1,651	1,659

② 面接相談

面接による、自殺予防相談、自死遺族相談を実施しています。

	自死遺族	自殺予防	合計
相談者数	2	0	2
相談延べ件数	15	0	15

③ 自死遺族への支援

自死遺族の方からの電話では、自助グループや当センターでの自死遺族支援に関する情報提供を求めて、電話をかけてこられる方がたくさんおられます。当センターでは、自死遺族の方に対する面接を行っています。また、奇数月第2月曜日に、「奈良いのちの電話」が行う自死遺族支援「よりそいの会あかり」の“グリーフスペースさくらい”を、自死のご遺族同士が語り合う場として提供しています。

※自死遺族支援“よりそいの会あかり”についてはhttp://www.nara-inochi.jp/ml_6_1.htmlを参照下さい。

④ ハローワークでほっとコーナー

ハローワーク2か所で、週1回弁護士を派遣し、こころの相談を実施しています。

	実施時期	相談者数
ハローワーク奈良	金曜日 13:00～16:30	88
ハローワーク大和高田	水曜日 13:00～16:30	75

(2) ゲートキーパー養成講座

①市町村別ゲートキーパー養成講座開催状況

自殺予防について正しい知識を持ち、身近な人のところの変調に「気づき」、話しを「聴き」、必要な支援に「つなぐ」、そして地域で「見守る」役割を担うゲートキーパーを養成し、地域における自殺対策を強化することを目的に、市町村が主体となり実施しています。

表8

市町村名	R2年度				R3年度				R4年度			
	職員		その他		職員		その他		職員		その他	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
奈良市									1	231	3	60
大和高田市											1	10
大和郡山市	1	20			1	19			1	23		
天理市			1	21			1	19			1	19
橿原市			2	34							1	32
桜井市					1	55			6	196		
五條市	1	33							1	164		
御所市			1	39								
生駒市			2	143								
香芝市											2	48
葛城市												
宇陀市												
山添村												
平群町									1	60		
三郷町					4	87			4	76		
斑鳩町			1	21	1	12			1	24		
安堵町									1	14		
川西町			1	23							1	22
三宅町			1	8			1	7			1	9
田原本町												
曾爾村												
御杖村												
高取町												
明日香村												
上牧町	1	77			1	28	1	33	1	45	1	25
王寺町					1	29			1	32		
広陵町											2	43
河合町									1	31		
吉野町												
大淀町							1	20			3	27
下市町												
黒滝村												
天川村												
野迫川村												
十津川村												
下北山村												
上北山村												
川上村									2	36	1	16
東吉野村												
合計	3	130	9	289	9	230	4	79	21	932	17	311

②関係機関・民間団体等主催のゲートキーパー養成講座開催状況

表9

関係機関名	R2年度		R3年度		R4年度	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
奈良県教育委員会	1	90	1	91	1	110
奈良県自治研修所	3	434				
奈良県消防学校	1	56	1	57	1	42
白鳳短期大学	1	39	1	40	1	40
奈良森林管理事務所	1	52				
奈良いのちの電話協会					1	30
奈良県総合医療センター					1	25
合 計	7	671	3	188	5	247

(3) 自殺未遂者支援

自殺のハイリスク者といわれる自殺未遂者への対策は、自殺を未然に予防するために重要な課題のひとつです。人材育成や関係機関との連携により、自殺未遂者への支援体制を構築することを目指し、研修を実施。

内 容	開 催 日	参加人数	対 象
自殺未遂者支援研修会（再掲） 講義「死にたい」と言われたら 講師 ハートランドしぎさん 院長 徳山 明広 氏	令和4年10月21日	79名	市町村、保健所、精神科病院、教育、児相、警察署、消防署等職員

(4) 市町村・関係機関支援

市町村が自殺対策に関する計画を策定し、地域の実情に応じたきめ細かな自殺対策を計画的に実施するために、必要な情報の収集・分析・提供を行い、市町村自殺対策計画の推進や進捗にかかる支援を行っています。また、市町村が主催する自殺対策に関連する会議に出席しました。

(4回：奈良市、香芝市、橿原市、教育研究所)

(5) 県自殺対策計画の推進にかかる支援

「奈良県自殺対策計画」に基づき、地域の実情に応じたきめ細やかで効果的な対策を実施するため、奈良県自殺対策計画の推進や進捗管理のために開催される会議等に参画しました。令和4年度は、奈良県の自殺の現状分析を行うとともに、本庁自殺対策主管課（疾病対策課）が主催した奈良県自殺対策連絡協議会、奈良県自殺対策ワーキング会議、奈良県自殺対策庁内連絡会に出席し、奈良県自殺対策計画の見直しを行うための支援を行いました。

6 依存症対策事業

① 薬物依存症治療回復プログラム

平成 28 年度より薬物依存症者の回復を支援するため、全国で先行実施例のある『SMARPP』を活用した集団による回復プログラムを実施しています。令和 4 年度の日程及び参加者は以下のとおりです。

第1回	令和4年 4月13日	10月12日	なぜ薬物やアルコールをやめなきゃいけないの？
第2回	4月27日	10月26日	引き金と渴望
第3回	5月11日	11月9日	あなたのまわりにある引き金について
第4回	5月25日	11月30日	あなたのなかにある引き金について
第5回	6月8日	12月14日	これからの生活のスケジュールを立ててみよう
第6回	6月22日	12月28日	依存症ってどんな病気？
第7回	7月13日	令和5年 1月11日	回復の地図
第8回	7月27日	1月25日	再発を防ぐには
第9回	8月10日	2月8日	再発の正当化
第10回	8月24日	2月22日	回復のためにー信頼と正直さー
第11回	9月14日	3月8日	相手に「NO」を伝えるスキル
第12回	9月28日	3月22日	強くなるより賢くなろう
参加者数 (延べ)	75名	55名	

① ギャンブル依存症（当事者）ミーティング

平成 30 年度より試行的に、ギャンブル依存症者に対して「SAT-G」を参考に集団による回復プログラムを実施しています。令和 4 年度の日程及び参加者は以下のとおりです。

当事者グループ

第 1 回	令和 4 年 4 月 20 日	あなたのギャンブルについて整理してみましよう
第 2 回	5 月 18 日	引き金から再開にいたる道すじと対処
第 3 回	6 月 15 日	再開を防ぐために
第 4 回	7 月 20 日	私の道するべ
第 5 回	8 月 17 日	回復への道のり
第 6 回	9 月 21 日	回復のために～正直さと仲間～
第 7 回	10 月 19 日	あなたのギャンブルについて整理してみましよう
第 8 回	11 月 16 日	引き金から再開にいたる道すじと対処
第 9 回	12 月 21 日	再開を防ぐために
第 10 回	令和 5 年 1 月 18 日	私の道するべ
第 11 回	2 月 15 日	回復への道のり
第 12 回	3 月 15 日	回復のために～正直さと仲間～
参加者数 (延べ)	31 名	

② ギャンブル依存症（家族）ミーティング

平成 31 年度より、ギャンブル依存症者の家族に対して同じ悩みを持つ家族同士が意見交換できる場を開催しています。また、必要に応じて回復プログラムを実施しています。令和 4 年度の日程及び参加者は以下のとおりです。

家族グループ

第 1 回	令和 4 年 4 月 19 日	ギャンブル依存症とは
第 2 回	5 月 17 日	イネイブリングをやめる
第 3 回	6 月 14 日	新しいコミュニケーションスキル
第 4 回	7 月 19 日	新しいコミュニケーションスキル
第 5 回	8 月 16 日	あなた自身の生活を豊かにする
第 6 回	9 月 20 日	本人に相談や治療を勧める
第 7 回	10 月 18 日	ギャンブル依存症とは
第 8 回	11 月 15 日	イネイブリングをやめる
第 9 回	12 月 20 日	新しいコミュニケーションスキル
第 10 回	令和 5 年 1 月 17 日	新しいコミュニケーションスキル
第 11 回	2 月 14 日	あなた自身の生活を豊かにする
第 12 回	3 月 14 日	借金問題における適切な対応について（研修会）
参加者数（延べ）	45 名	

③ ギャンブル依存症者等を抱える家族を対象とした研修会

研修名	テーマ	講師	参加人数	実施日
ギャンブル依存症等対策研修会	「借金問題における適切な対応について」	松本・板野法律事務所 弁護士 板野 陽一 氏	23名	令和4年 8月28日
ギャンブル依存症等対策研修会	「借金問題における適切な対応について」	松本・板野法律事務所 弁護士 板野 陽一 氏	6名	令和5年 3月14日

7 災害時対策事業

研修名	テーマ	講師	参加人数	実施日
災害時こころのケア研修会研修会（再掲）	「PFA（サイコロジカル・ファーストエイド）を学ぼう」	杉山診療所 精神科医 大阪府災害医療コーディネーター 緑川 大介 氏	23名	令和5年 1月6日

研修名	実施日	備考
京都DPAT養成研修	令和4年10月22～23日	京都府が実施した養成研修に職員が参加

訓練名	実施日	備考
令和4年度近畿地方DMATブロック訓練	令和4年11月19日	奈良盆地東縁断層帯地震を想定したDMATブロック訓練に職員が参加し、精神保健支援班（DPAT調整本部）立ち上げ等の訓練を実施

8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築にむけた取組

「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム（『にも包括』）」の構築を推進し、精神障害者等が地域で安心して暮らせる精神保健医療福祉体制を実現するため、精神障害を有する方等への支援や、地域課題の解決に向けて、関係機関（者）と協働する人材を育成することを目的に、郡山保健所及び中和保健所管内の関係者等を対象とした研修会を実施しました。

研修名	テーマ	講師	参加人数	実施日
精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた研修会	「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムについて」	社会福祉法人じりつ 理事長 岩上 洋一 氏	56名	令和4年 6月30日

9 精神医療審査会の開催

精神医療審査会は、公平かつ専門的な見地から、医療保護入院者の入院届並びに措置入院者及び医療保護入院者の定期病状報告の審査と、精神科病院の入院者からの退院・処遇改善の請求の審査を行います。令和4年度の審査状況は、表12のとおりです。

表12 精神医療審査会審査状況

区分	届出等の 件数	審 査 件 数	審 査 結 果						計	取 下 げ	退 院 等 審 査 要 件 の 消 失	審 査 中	未 審 査
			入 院 等 は 適 当	他 院 へ の 入 院 形 状 が 適 当	入 院 続 続 要	入 院 不 適 当	入 院 不 適 当	入 院 不 適 当					
医療保護入院の届出 (法第33条第1項)	2,555	2,555	2,555	0	0			2,555			0	0	
定期の 病状報告	措置入院者	0	0	0	0	0		0			0	0	
	医療保護入院者	964	964	964	0	0		964			0	0	
	任意入院者												
退 院 の 請 求	措置入院者	10	7	4	3	0		7	1	2	0	0	
	医療保護入院者	69	47	42	1	0		43	15	7	0	4	
	任意入院者												
処 遇 改 善 請 求	措置入院者	1	0	0			0	0	0	1	0	0	
	医療保護入院者	12	5	5			0	5	2	3	0	2	
	任意入院者												
合 計	3,611	3,578	3,570	4	0	0	0	3,574	18	13	0	6	

※審査結果の計=届出数の件数。審査件数については審査により「保留」となった場合も計上しているため、審査結果の計と同数になっていません

10 技術支援・関係機関との連携

① 講師派遣

関係機関からの依頼により、研修会へ講師派遣を行いました。

研修名	主催者	テーマ 講師	実施日
吹田市こころサポーター養成講座	厚生労働省/ 吹田市	厚生労働省「令和4年度心のサポーター養成事業」における「こころサポーター養成研修（吹田市開催）」 奈良県精神保健福祉センター 精神科医	令和5年 1月26日

- (1) 対面支援 5件（市町村・関係機関）
（対象機関で処遇しているケースについて面接相談したもの）
- (2) 電話コンサルテーション 56件（市町村・関係機関）
（対象機関の職員からの電話による相談）
- (3) メールコンサルテーション 50件（市町村・関係機関）
（対象機関の職員からのメールによる相談）
- (4) 個別コンサルテーション 1件（市町村）
（対象機関の職員が来所、又は当方から出向くことによる相談）

② 会議等出席

(1) 関係機関からの依頼により、各種会議等へ職員が出席しました

会議名	主催者	実施日
なら被害者支援ネットワーク総会	奈良県警察本部 県民サービス課犯罪被害者支援室	令和4年6月21日
なら被害者支援ネットワーク 性被害者支援専門部会	奈良県警察本部 刑事部捜査第一課	令和4年6月21日
なら被害者支援ネットワーク 少年被害者支援専門部会	奈良県警察本部 生活安全部少年課少年サポート第二係	令和4年9月2日
奈良県医療観察制度運営連絡協議会	奈良保護観察所	令和4年11月29日
奈良地域若者自立支援ネットワーク連絡会議	奈良県青少年・社会活動推進課等	令和5年1月26日
奈良県てんかん治療医療連携協議会	国立病院機構奈良医療センター	令和5年3月23日

(2) 全日本断酒連盟 第59回全国（奈良）大会

令和4年10月16日に天理市内で開催された全断連第59回全国（奈良）大会当日及び準備会へ、実行委員として職員を出席させました。

11 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療(精神通院)の交付

精神障害者保健福祉手帳は、一定の精神障害にあることを認定して交付することにより、精神障害者の社会復帰、社会参加の促進を図ることを目的としている。また、自立支援医療(精神通院)は、治療のため、通院による精神医療を継続的に要する病状にある方に対して医療費の自己負担を軽減する制度。

令和4年6月末現在の精神障害者保健福祉手帳所持者数と、自立支援医療(精神通院)受給者数及びその詳細は、以下のとおりです。

表13 精神障害者保健福祉手帳所持者数 令和4年6月末現在

等級	1級	2級	3級	合計
精神障害者保健福祉手帳所持者数	2,053	9,088	4,102	15,243

表14 自立支援医療(精神通院)受給者数 令和4年6月末現在

保険種別	社会保険		国民健康 保 険	後期高齢者医療	生活保護	合計
	本人	家族				
受給者数	3,863	4,485	9,051	1,743	3,147	22,289

表15 自立支援医療ICDコードカテゴリ別受給者数 令和4年6月末現在

ICDカテゴリ	コード	給付決定件数
症状性を含む器質性精神障害	F0	1,108
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F1	586
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	F2	5,524
気分障害	F3	8,823
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	F4	1,977
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	F5	105
成人の人格及び行動の障害	F6	116
精神遅滞	F7	324
心理的発達の障害	F8	1,365
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	F9	660
特定不能の精神障害	F99	1
てんかん	G40	1,700
計		22,289

奈良県精神保健福祉センター所報 (令和4年度)

令和6年2月発行

編集・発行 奈良県精神保健福祉センター
〒633-0062 奈良県桜井市栗殿1000

電話：0744-43-1474

FAX：0744-42-1603

Email：seishin-hw@office.pref.nara.lg.jp